



動画はこちら

一般質問

うみのまなぶ
海野 学 議員質問の
ねらい

当別長生会の運営状況は

当別長生会は慢性的な赤字経営が続いている。特に、平成22年に町から養護老人ホームの運営を引き継いではからは顕著で、近年では主要事業である特養※1を含め、法人全体で赤字が続き資金繰りが厳しくなっ

ている。令和6年5月の臨時会において、町より9,700万円の補助を行うことが決まったが、その後の状況と町長の考えを質した。また、町内で被害が拡大する特定外来生物アライグマへの対策強化を質した。

ここが
聞きたい

9,700万円の使用状況

問

町から赤字で運営を引き継いだ養護老人ホームの経営危機に伴い、令和6年5月の臨時会で当別長生会への9,700万円補助が議決されてから約1年半が経過。現在の残高と主な使途を伺う。

答

令和6年度は人件費や光熱費、施設修繕費として6,400万円を支出し、3,300万円を翌年度へ繰り越した。令和7年11月末時点で2,000万円を人件費と光熱費に支出したと報告を受けている。



養護老人ホーム長寿園が入る社会福祉法人当別長生会

ここが
聞きたい

運営改善の内容

問

長生会より事業再編計画が提出されて以降、長生会がどのように運営改善を進め、町はどのような助言や指導を行ってきたのか、その対応状況を伺う。

答

町は2カ月に1回程度ヒアリングを行い助言した。定員縮小や有料老人ホーム新設、日用品の一部入居者負担化などに取り組んだが、人材確保が計画どおり進まず、運営改善には至らなかった。

ここが
聞きたい

今後の運営

問

今後、当別長生会の運営をどのようにしていくのか伺う。

答

長生会は単独での事業継続が困難となり、複数法人との交渉を経て、札幌市の社会福祉法人へ事業譲渡することで合意した。現在は両法人で譲渡に向けて手続きを進めていると報告を受けている。

ここが
聞きたい

高齢者を路頭に迷わせない

問

私たち議員は、町長の考えと同様に、入居されている高齢者を路頭に迷わせることがないように、また、職員の雇用も守るため議決したが、今後も町長の考えに変わりはないのか。

答

考えは変わらない。今回の合併で、入居者、施設職員ともに新たな法人が引き継ぐと報告を受けている。今後、町の福祉施策を知ってもらい、良好な関係を築いていきたい。

ここが
聞きたい

アライグマ駆除

問

アライグマによる農作物被害が増えており、地域全体で駆除に取り組む必要がある。町長の考えを伺う。

答

鳥獣被害防止計画に基づき可能な限り町内全域で捕獲している。町民の協力により箱わなを設置し、捕獲頭数が伸びていることから、今後も広報等を通じて駆除の重要性を周知し被害軽減を図る。

※1 特養…特別養護老人ホームのこと。常に介護が必要で在宅生活が困難な要介護高齢者に対し生活全般の介護を提供する施設。

一般質問

やまざき こうじ
山崎 公司 議員

質問の
ねらい

町内図書館の現状と今後の展開

①町内には「当別町図書館」と「西当別分館」があるが、町民の利用度に大きな差が生じている。利用状況の要因分析と魅力ある図書館運営、今後の展開を質した。②令和4年3月より小中一貫教育を導入。総事業

費63億円で建設された義務教育学校とうべつ学園は「施設一体型」、西当別小・中学校は「施設分離型」と両方式で一貫教育を実施。導入から4年を迎える中、成果と課題を踏まえた今後の方向性を問うた。



動画はこちら

ここが
聞きたい

利用度の差 要因は

問

本館と分館の貸し出し実績や利用者数、蔵書数が公表されているが、令和6年度以降、両図書館の町民利用度には大きな差がある。要因は何か。今後どのような対策を検討しているか。

答

本館は貸し出し利用が多く、分館はコミセン利用者の閲覧が一定数いる。分館では除却本の無償譲渡棚を設置するなど、利用促進対策をしており、両館とも引き続き魅力ある図書館づくりに努める。

ここが
聞きたい

西当別地区に新図書館を

問

今後、人口増加が見込まれること、また、図書館の利用度が高いことから、西当別地区に町の魅力を向上させる策として民間の協力を得て図書館新設を検討する考えはあるか。

答

分館は、西当別コミュニティセンターとの複合施設であることで、利便性が高いと認識している。現時点で西当別地区での新設計画はないが、利便性向上の方策は今後も模索する。

ここが
聞きたい

一貫教育への保護者の声

問

各校で実施する保護者アンケートから、現状をどう把握しているか。例年行われている中学教員による小学校での体育授業が、今年度西当別地区では中止など一貫教育への不満の声も聞く。見解は。

答

一貫教育や体験学習の充実などに対し一定の評価を得ている。一方、中学の学級減で加配教員がなくなり乗り入れ授業は実施できていないが、行事や協働体制は継続し一貫教育は維持している。

ここが
聞きたい

とうべつ未来学の充実を

問

さらなる充実を期待する。当別は明治4年の伊達邦直公の開拓をはじめ多様な地域からの入植で発展してきた。若い移住者が増える中、授業で地名の由来や地域の歴史に触れる機会が必要では。

答

町を好きになる要因となる歴史を学ぶということは非常に大切なことで学校の中でもふるさと教育の中で取り組んでいる。教員研修では「大地の侍」を上映する等、今後も歴史を大切にしていきたい。

ここが
聞きたい

西当別地区に義務教育学校

問

小中一貫教育の先進地視察では分離型でも充実した教育環境が可能と報告されている。教育環境の改善のため西当別地区にも施設一体型の義務教育学校を望む声があるが5年以内の開校は可能か。

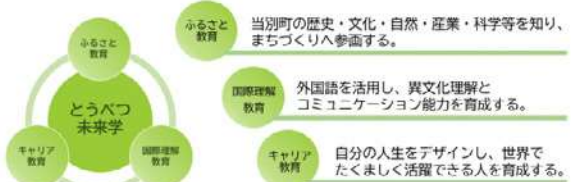
答

今後大規模改修の課題もあるため「当別町公共施設等総合管理計画」等を踏まえ、西当別地区の学校の在り方を町長部局と検討したい。また現時点で5年以内に改修・建て替えができる見込みはない。

とうべつ未来学 とは

当別町内の全小中学校で実施する教科等横断的な学習です。生活科、総合的な学習、外国語、社会などの時間で実施します。

「とうべつ未来学」3つの柱





一般質問

さ さ き つね こ
佐々木 常子 議員

質問の
ねらい

安心・安全の当別町に

①高校生の通学補助は、予算に対し多くの不用額があった。助成率を上げれば子育て世帯の負担軽減につながる。②乳がんは罹患数が全てのがんの中で最多。死亡数も増加しており、早期発見が重要である。

③防災講演会が盛況であったが、オンラインを併用することでより多くの方が参加できるのではないかと。平時から自主防災を意識し、備える人を増やすことが共助強化につながる。これらの3件について質した。

ここが
聞きたい

高校通学費支援の拡充を

問

物価高騰で保護者から通学費助成の増額に対する要望が多い。令和6年度予算960万円に対し、決算額は約260万円。この不用額で助成率引き上げや、大学・専門学校生への対象拡充は可能か。

答

本事業は昨年度開始の新制度。不用額は一時的要因によるもので、助成率引き上げの原資とすることは適当でない。利用者の推移や通学実態を見ながら、助成率や対象範囲の見直しを検討する。

ここが
聞きたい

乳がん検診の受診促進

問

全てのがんの中で、乳がんは罹患数が最多。死亡数も増加傾向で、令和5年には15,763人が亡くなっている。早期発見なら生存率は高いが、進行により低下する。町の受診促進策は。

答

昨年度は11.5%が受診。満40歳の方への、乳がん検診無料クーポンの送付や、広報誌でセルフチェックの特集記事を掲載。日々の意識が早期発見につながるため、今後も周知を図っていく。

ブレスト・アウェアネスを習慣づけよう！

乳房を意識する生活習慣のことであり、乳がんの早期発見につながる、非常に大切な生活習慣です。

- ① 普段の乳房の状態を知る
- ② 乳房の変化に気をつける
- ③ 変化に気づいたら、すぐ医師へ相談する
- ④ 40歳以上の女性は2年に1度、乳がん検診を受ける

町広報2025年10月号より一部抜粋



ここが
聞きたい

30代への検診補助は

問

乳がん検診は、40歳以上の方が対象であるが、乳がんは30代後半から罹患率が急増する。30代を対象とした乳がん検診の補助も必要では。

答

国の指針では、40歳以上を検診の対象としている。30代はマンモグラフィによる検診の有効性が低く、偽陽性も多いため慎重な判断が必要。セルフチェック啓発を続け、異常時の受診を促す。

ここが
聞きたい

防災意識の向上に向けて

問

世界的に災害が増加する中、自助と備えの重要性を周知する取り組みの強化が必要ではないか。先日の地震を踏まえ、冬季の防災対策の考えは。

答

広報誌の特集や出前講座、防災セミナーを実施し、意識向上を図っている。今後も情報発信を続け、夏冬対応の備蓄整備や冬季訓練、地域での自助共助訓練などの充実を検討していく。

ここが
聞きたい

防災講演会のネット配信を

問

防災講演会の参加機会を広げるため、会場での講演とオンライン配信を併用してはどうか。また、休日や夜間に視聴できる仕組みを検討しては。

答

講師の意向や、講演内容を踏まえ、可能な場合はオンライン配信を活用し、防災知識を広く届けるよう努める。今回の講演会は講師の意向により配信を行わなかった。

一般質問

いがらしのぶこ
五十嵐 信子 議員

質問の
ねらい

町民目線で！わかりやすい発信を

子育て世帯の増加や住民ニーズの多様化により、公園の安全性確保、駅前駐車場の整備、公共交通の利便性向上は一層重要となっている。

現場で生じている不便や危険の実

態を把握し、住民の声を踏まえた改善策を進める必要があるとの観点から、町の方針と取組状況を質し、課題の共有と対応の促進を問うた。



動画はこちら

ここが
聞きたい

公園遊具等の整備再生計画

問

破損遊具やベンチに規制線が張られたまま放置されており、安全性に不安がある。児童公園の機能を果たせるよう、撤去後の利活用を含め、児童公園の遊具修繕計画や再生方針の有無を問う。

答

計画的整備は行っていないが地域の意見を聞いていただいている代表者と協議し、住民の意見を踏まえながら都度対応しているところである。

ここが
聞きたい

住民の声を聞き協議する場

問

それぞれの地域の児童公園の在り方について、住民の声を収集し、協議する仕組みが整備されているのかを確認する。

答

施設の更新の都度、地域の代表者と協議し、住民意見を踏まえて対応している。

ここが
聞きたい

分かりやすく公園機能整理

問

住民が遊具設置を希望する公園の中には、冬季の雪捨て場として利用される場所も。「遊具を維持する公園」と「雪捨て場中心の公園」の役割分担を整理し、住民理解を得る対策はあるか。

答

豪雪地帯という地域特性を踏まえ、冬季の利用は地域の代表者の意見を聞き、協議の上で進めている。今年度から除排雪連絡協議会で一定のルールを定め、公園への雪置きを開始している。

ここが
聞きたい

太美駅 駐車場の需要は

問

JR太美駅前の駐車場需要を把握するため、調査などを行う予定はあるか。また、駅周辺の町有地などを活用し、町民が望む駐車場の整備を進める考えはあるか伺う。

答

これまで、地域や利用者等から不足の声は聞いていないが、今後のため、新年度に現状把握を行う。整備については、駅周辺の土地利用を考慮し、総合的に検討を進めていく。

乗ろう！市街地予約型線（デマンドバス）！

エリア内なら自宅付近から町内医療機関や銀行に行ける！デマンドバスを利用しませんか？

事前予約制・平日のみ運行

「とバナビ」アプリから予約ができます。
電話からのご予約は、
(有) 下段モータース 23-2630 へ



詳しくは町のホームページへ

1便	2便	3便	4便
6:30-8:00	8:30-9:30	10:00-11:00	11:30-12:30
5便	6便	7便	8便
13:00-14:00	14:30-15:30	16:00-17:00	17:30-18:30

- 便によって運行エリアが異なります（太美エリアは運行対象外）
- 複数の人が乗降するため、目的地への到着時間に幅があります

ここが
聞きたい

病院前にバス停検討を

問

JR太美駅から本町地区へ通院する際、停留所から距離があり不便との声を聞く。地域病院前のバス停設置について、アクセス改善の検討経過と課題、今後の方向性を問う。

答

運行ルートや停留所は、利便性向上のため随時見直しを行っており、当別大通沿いの医療機関付近もデマンド運行で対応している。今後も住民ニーズの把握に努め、路線の見直しを行っていく。



動画はこちら

一般質問

かくた ひろすけ
角田 広佑 議員

質問の
ねらい

多文化共生と多様性を認め合う町

町内において外国籍の人々が増えている。今後も増加することが見込まれる。多文化を理解し、ともに町で暮らしてつづけるために、町としてどのような対策を施しているか。一方、小中学校においても外国籍の児

童生徒への教育をどのように行っているか、現状と課題を伺った。

町の魅力をより一層プロモーションするために、観光大使やPR大使といった人材を委嘱することが望ましいと考える。町の方針を伺った。

ここが
聞きたい

町における外国人への対応

問

ここ数年、多国籍の方が町に在住するようになり、現在も増加傾向にある。彼らが町に溶け込み、穏やかな生活を送るために、町はどのような対応、対策を行っているか伺う。

答

転入時にライフサポートカードを配布。町ホームページで役場の手続きやごみの出し方等を多言語に翻訳する環境を整備。地域ではコミュニケーションツールの一つとして活用いただいている。

گهريلو ڪجهه ڪو انگ اور ٺهڪار ٺڪار ٿا طريقو

براہ ڪرم انهن صحيح طريقن تي انگ ڪريون۔ براہ ڪرم جهانگي کي درجہ بندي کي مطابق انهن صحيح طريقن تي انگ ڪريون۔	براہ ڪرم بروقت تصرف ڪو يقيني بنائين۔ براہ ڪرم جمع ڪرڻ جي دن صبح 8:00 بجي تڪ ٻاير رکيون۔
انهن ٽوئيلسو ٽائون کي طرفن تي فراهم ڪرڻ ڪوڙيه ٺهليون جي رڳيون۔ ”ڇوڪي ڪي قابل“، ”ٿان بون ايل“ اور ”غير آتش گر“ ڪوڙيه ڪي ايل، براہ ڪرم مقامن خورده هروڙون تي مخصوص ادا شده ردي کي ٽوڪري ڪي ٺهلي خوردي اور ڪوڙيه ڪو ٽوڪري لڳي وقت ان ڪا استعمال ڪريون۔	بنگ ڪو ٻاير رڳيون تي ٺهلي ايل محفوظ طريقن تي ٺاهين۔ ڪوڙا جمع ڪرڻ جي دوران ٻاير ٺڪل سڪا پيا، ايل ايل بنگ ڪو ٻاير ٽافيل تي ٺهلي ايل محفوظ طريقن تي بند ڪرا يقيني بنائين۔ اس ڪي علاوه، آپ انهن بنگ سان ٽيم يا ٽار ٺهلي ٽار سڳي، يا انهن ٻاير رڳيون ڪي ايل متعدد شين استعمال ٺهلي ڪر سڳي۔ ٺهري ٻاير اور اس طرح ڪن قسم ٻيڙا، ايل ايل جو مخصوص 40 ليڪر ڪوڙيه ڪي ٺهلي تي ٺهريو سا ٻاير ٽانگي پيا۔ ٽوڪري لڳي ڪي ايل ٽوڪري ٺهلي پيا، پٽرٽنگ۔ وه محفوظ طريقن تي ٺهلي پيا، اور بنگ ڪو مناسب ذريعن تي بند ڪرا سڳي۔

نامزد ڪجهه ڪي ٺهليون کي اقسام اور سائز نامزد ڪوڙيه ڪي ٺهلي (30 بيگ ڪي بيگ)

5 ليڪر	10 ليڪر	20 ليڪر	30 ليڪر	40 ليڪر
ٻي 100	ٻي 200	ٻي 400	ٻي 600	ٻي 800

町ホームページよりウルドゥー語の「ごみの分別と処分方法」

ここが
聞きたい

教育現場での外国人対応

問

町で増加するパキスタン人は一族全員で移住する文化的特徴があり、小中学生も来日して通学することになる。現在の外国籍児童生徒数と、教育現場での個別対応の現状や課題は。

答

町内小中学校には25名が在籍。多くが日本語を話せない状態で入学するため、国際学級^{※1}で日本語指導を行う支援員を配置している。人数増加による対応負担と保護者との意思疎通が課題。

ここが
聞きたい

性的少数者への理解促進

問

外国人や多文化の理解に加え、多様性の理解促進も重要である。義務教育課程での、SOGI^{※2}やLGBTなどに関する教育内容や方針をどのように定めているか。

答

性教育全体計画を定め、性に関する知識の習得と性的少数者への理解を深める教育を実施している。誤解や偏見をなくし、いじめ防止や権利の尊重を図る包括的な教育を行っている。

ここが
聞きたい

性自認形成期の子ども

問

性自認は3～6歳頃から思春期にかけて形成されると言われる。その時期に一人で悩みを抱え、不登校や引きこもりに至ってしまう事例も。学校として、子どもたちへどのように対応するか。

答

教職員は児童生徒の表情や態度から悩みを早期に察知し、組織的かつ迅速に対応する必要がある。また、家庭にとっても大きな問題であるため、学校と保護者が密に連携する必要がある。

ここが
聞きたい

町のPR人材の委嘱

問

町の魅力発信を強化するため、観光やPRを担う人材を委嘱し、より一層のプロモーションを行うべきと考えるが、町でPR大使の委嘱の検討はあるか。

答

観光大使やPR大使制度の創設は町の知名度向上、情報発信力強化に有効と認識している。実現に向けて、予算措置や選定方法を含め、庁内で検討を進めているところである。

※1 国際学級…「学習するための語学能力」を習得するための取り出し授業のこと。

※2 SOGI…性的指向(好きになる性)と性自認(心の性)の各英訳のアルファベットの頭文字を取った「性の多様性」を表す言葉。すべての人が持っている属性のこと。

一般質問

よしかた ゆき お
芳形 幸夫 議員

質問の
ねらい

養護老人ホームと不登校対応

当別長生会が運営を行っている養護老人ホーム長寿園の運営体制が、新たな事業者へと引き継がれると聞いているが、現状の正確な情報と、地域福祉のさらなる前進の方向性について質す。

全国的に、不登校対応に多くの時間を要していることが問題。教職員の時間と心のゆとりをなくすことについて、当別町の現状と今後の展望について質す。



動画はこちら

ここが
聞きたい

生活継続と措置責任

問

最も大切にすべきは、入所者が安心して生活できる環境の維持である。新事業者の運営下でも、入所者が従来どおり安心して生活を続けられるよう、町はどのように支えていく方針か。

答

町は老人福祉法に基づき、措置に必要な予算を確保し、入所者の生活を継続して支える責務があるという認識に変わりはない。

ここが
聞きたい

新事業者との関係構築

問

新事業者との協力体制を構築し、町民サービスと地域福祉の質を高めることが重要と考える。今後、新事業者との協議において、町がどのように連携を深め、円滑な関係を築く考えかを問う。

答

新事業者は札幌の法人で、町での事業は初めてである。町の福祉施策への理解を深めてもらいながら、より良い関係を構築していく。まずは休止中の事業再開を期待したい。

ここが
聞きたい

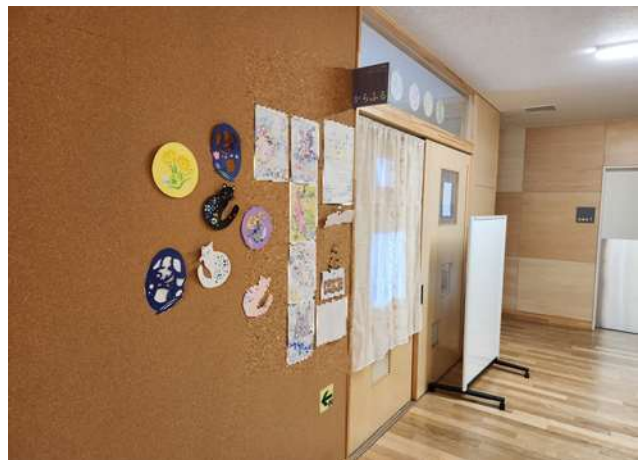
教職員の業務負担の実態

問

町の学校現場において、不登校対応に必要な時間や人員などの労力が、従前と比べてどう変化しているのか。不登校対応が授業準備など本来業務を圧迫しているとの認識があるかを問う。

答

子どもを取り巻く環境の多様化により学校対応は複雑化し、教職員の業務量は増えている。一方で、不登校への対応は本来の業務の一つであり、本来業務の圧迫には当てはまらないと考える。



校内教育支援センター「からふる」(とうべつ学園内)

ここが
聞きたい

時間と心のゆとりの確保

問

学校運営やチーム学校の体制を踏まえ、教職員の時間と心のゆと리를確保する施策をどう進めるのか。国・道への教職員定数増や加配措置継続の要望、支援員等の活用を進める考えはあるか。

答

特定の教職員に負担が偏らぬよう、学校全体で対応する体制を整えている。定数や加配措置は制度を活用して人員確保に取り組み、必要に応じスクールカウンセラー等の体制整備を進めている。

ここが
聞きたい

今後の方向性は

問

義務教育学校の特性を活かし、多くの目で児童生徒を見守ることが教育の質を高めると考える。教職員の働き方を踏まえいじめや不登校などの学校課題に今後どう取り組むのか。

答

校内外の支援センター設置や、メタバース※1等を活用した多様な学びの場を整え、支援体制を充実させることで、全ての子どもを社会と未来へつなぐ取り組みを進める。

※1 メタバース…超越 (Meta) と宇宙 (Universe) を組み合わせた言葉で、インターネット上に構築された3次元の仮想空間のこと。